

主要産地における平成28年産水稻の生育状況等について 第2報 (5月31日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (平成28年6月1日)

道府県	生育状況等		同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等 (抜粋)
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等	
北海道	(育苗・田植)	<p>(全道) 生育は平年並 (早2日)。移植作業は平年並に始まっている (早1日)。雪解けも速く、気温も高く推移したことから、農作業・生育は順調に進んでいる。(北海道農政課 5月15日現在)</p> <p>(空知) 苗の生育は順調 (早2日)。(空知総合振興局 5月15日現在)</p> <p>(石狩) 生育は順調。一部で移植が始まっている (早3日)。(石狩総合振興局 5月15日現在)</p> <p>(後志) 苗の生育は平年より1日程度早い。移植が始まり、移植の進捗率は1% (早2日)。(後志総合振興局 5月15日現在)</p> <p>(胆振) 苗の生育は平年並。(胆振総合振興局 5月15日現在)</p> <p>(日高) 苗の生育は平年並み (早1日)。(日高総合振興局 5月15日現在)</p> <p>(渡島) 苗の生育は平年並に推移 (早2日)。(渡島総合振興局 5月15日現在)</p> <p>(檜山) 苗の生育は平年並 (早1日)。(檜山振興局 5月15日現在)</p> <p>(上川) は種や耕起が平年並に進み、生育も平年並に推移している。(早1日)。(上川総合振興局 5月15日現在)</p> <p>(留萌) 生育は順調 (早3日)。出芽期は4月24日。一部で移植作業が始まった。(留萌振興局 5月15日現在)</p> <p>(オホーツク) 生育は平年並み (早1日)。出芽期は4月26日 (オホーツク総合振興局 5月15日現在)</p>	<p>6月のヒメトビウンカの発生量はやや多く、イネドロオウムシの発生量はやや少なく、フタオビコヤガの発生量は少ないと予報</p> <p>抵抗性イネドロオウムシに対する薬剤の選択に注意するよう指導 (北海道病害虫防除所 5月30日公表)</p>
青森	(田植)	<p>(黒石) ・移植時の苗は、「つがるロマン」は草丈が19.5cmで平年より1.3cm長く、葉齢は3.1葉で0.1葉少なかった。「青大の霹靂」は「つがるロマン」と比べ、草丈が0.5cm長く、葉齢は同等であった。病害の発生は見られなかった。</p> <p>・新根の発生状況 (移植後5日目) は、新根数が10.5本と平年より4.5本多く、最長新根長は5.0cmと平年より2.8cm長かった。</p> <p>(十和田) ・「まっしぐら」の移植時の苗は、草丈が17.3cmで平年より1.2cm長く、葉齢は2.6葉で平年より0.4葉少なかった。病害の発生は見られなかった。</p> <p>・新根の発生状況 (移植後5日目) は、新根数が4.3本と平年より0.7本多く、最長新根長は4.1cmと平年より1.9cm長かった。</p> <p>(青森県産業技術センター農林総合研究所 5月30日付)</p> <p>・5月25日現在の田植進捗状況は、県全体で90%となっており、平年より6ポイント高かった。県全体の田植最盛期は、平年並の5月21日であった。</p> <p>&lt;地区別進捗状況&gt; 東青 83% (中南) 87% (西北) 93% (上北) 93% (下北) 50% (三八) 83% (青森県 5月26日付)</p>	<p>6月のイネミズゾウムシの発生時期は早く発生量はやや多い、イネドロオウムシの発生時期は早く発生量は平年並と予報 (青森県病害虫防除所 5月31日公表)</p>
岩手	(田植)	<p>・県全体の田植最盛期は5月17日と見込まれ、田植え作業は満期に終わる見込み、田植え時期の気温・日照時間とも平年を上回り、活着は概ね良好。</p> <p>・直播栽培播種後出芽までの気温が平年より高く経過しており、県内各地とも出芽は良好。(岩手県 5月26日付)</p>	<p>5月のイネミズゾウムシの発生量は平年並、イネドロオウムシの発生量は平年並と予報 (岩手県病害虫防除所 4月27日公表)</p>
宮城	(田植)	<p>・5月19日現在、県全体の田植進捗率は89.2%であり、ほぼ平年並みで推移している。</p> <p>&lt;地区別進捗状況&gt; (大河原) 90.7% (仙台) 87.3% (大崎) 91.3% (栗原) 88.0% (登米) 85.0% (石巻) 94.2% (気仙沼) 79.4% (宮城県 5月23日付)</p>	<p>イネミズゾウムシの発生量は平年並、イネドロオウムシの発生量は平年並と予報。(宮城県病害虫防除所 5月20日公表)</p>
秋田	(田植)	<p>(鹿角) 田植作業の進捗状況は5月26日現在で95%を超え、終期を迎えた。移植後の活着も良好で順調に生育している。(5月27日付)</p> <p>(山本) 5月25日現在、本田の田植え作業の進捗状況は93.4% (平年 92.6%)。(5月27日付)</p> <p>(由利) 5月25日現在、田植え作業の進捗率は89.1%となっている。水稻の直播栽培における播種作業はほぼ完了し、終期は平年並みの5月20日となった。早く播種したところでは、出芽が見られる。(5月27日付)</p> <p>(平鹿) 5月25日における移植作業の進捗率は81.9%となっている。移植の盛期は5月23日で、平年より2日早く進んでいる。(5月27日付)</p> <p>(秋田) 耕起作業の終期 (進捗率95%) は平年と同じ5月6日となり、作業はほぼ終了している。田植え作業が始まっており、5月10日現在の進捗率は3.6% (平年2.9%) となっている。(5月13日付)</p> <p>(仙北) 耕起作業は5月10日現在で83.5% (平年83.1%) の進捗となっている。4月下旬の降雨等により、耕起作業に若干遅れが見られたものの、作業は概ね順調に進んでいる。直播栽培の播種作業は今週末に盛期を迎える見込み。(5月13日付)</p> <p>(雄勝) 耕起作業の終期は、5月14日で平年より2日早くなった。田植え作業が始まった。(5月20日付) (秋田県農林政策課)</p>	<p>6月の葉いもちの感染量は平年並、ばか苗病の発生量は平年並の予報</p> <p>イネミズゾウムシの発生時期は早く、発生量は多いと予報</p> <p>斑点米カメムシ類の発生時期は早く、発生量は多いと予報</p> <p>イネドロオウムシの発生量は少なく、イネミズゾウムシの発生量は平年並と予報</p> <p>イネギワハエとニカメイガ、フタオビコヤガの発生量はやや少ないと予報 (秋田県病害虫防除所 5月27日公表)</p>
山形	(田植)	<p>(最上) 移植作業は、始期が5月18日、盛期が21日、終期が28日 (見込み) と、平年並からやや早い進捗状況となっている。(最上総合支庁農業技術普及課 5月27日付)</p> <p>(北村山) 田植えは、始期5月14日、盛期5月21日、平年並に順調にすすんだ。(北村山農業技術普及課 5月26日付)</p> <p>(鶴岡田川) 育苗期間中、気温の変動は大きかったものの日照があり、概ね健苗育成が図られた。 (庄内総合支庁農業技術普及課 5月23日付)</p> <p>(東南村山) 今年も高温基調であり雑草の発生と生育が早まると見込まれるため、除草剤は遅れずに散布するよう指導。(5月19日付)</p> <p>田植えは5月25日頃を晩限に、できるだけ好天の日を選んで行うよう指導。(5月11日付) (村山総合支庁農業技術普及課)</p> <p>(西村山) 田植えは適期は、5月25日頃までを目安と指導。(村山総合支庁西村山農業技術普及課 5月10日付)</p> <p>(置賜) 気温の高い日が続くと予想され、苗焼けや苗の伸びすぎないよう温度管理を指導。田植えの適期は5月15日～20日頃。つや姫の田植えは5月20日まで。(置賜総合支庁 5月6日付)</p>	<p>5月の苗立枯病の発生量は平年並の予報 (山形県病害虫防除所 4月27日公表)</p>
福島	(育苗・田植)	<p>・移植栽培用の播種作業は、盛期が4月16日、終期が4月24日で、それぞれ平年に比べ1日早まった。湛水直播栽培は、4月下旬から播種作業が始まっている。移植栽培も、早いところでは4月下旬から田植えが始まっている。(福島県農林水産部 5月12日付)</p>	<p>6月の葉いもちの発生量は平年並、イネドロオウムシの発生時期は早く発生量は平年並、イネトメハエグリバエの発生量はやや少なく、イネミズゾウムシの発生時期は早く発生量は平年並からやや少ないと予報 (福島県病害虫防除所 5月27日公表)</p>
茨城			<p>4月下旬現在、本田でのイネミズゾウムシの生息数が最高に達する時期は、県南・県西地域では5月中旬、県北・県央・鹿行地域では5月下旬～6月上旬と予測 (茨城県病害虫防除所 4月28日公表)</p> <p>イネ綿葉枯病 (ヒメトビウンカ) の注意報が発表された (農林水産省 4月19日付)</p>
栃木			<p>ヒメトビウンカのイネ綿葉枯病ウイルス保毒虫率は、県中部で8.3%、県南部で7.1%と高い状況が続いており、県北部でも徐々に高まっている。(栃木県農業環境指導センター 5月27日公表)</p> <p>5月下旬～6月下旬のイネ綿葉枯病の発生量はやや多いと予報 (栃木県農業環境指導センター 4月28日公表)</p>

生育状況等		同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等（抜粋）
埼玉		<ul style="list-style-type: none"> <li>6月の葉いもちの発生量はやや多く、ニカメイチュウの発生時期はやや早く発生量はやや多い、イネミズゾウムシの発生時期は早く発生量は昨年並、イネドロオウムシの発生量は少なく、ヒメトビウカの発生量はやや多く、結葉枯病の発生量は多いと予報（埼玉県病害虫防除所 5月27日公表）</li> <li>イネ結葉枯病（ヒメトビウカ）の注意報が発表された（農林水産省 4月19日付）</li> </ul>
千葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>苗の生育は順調に進んだ。移植後は、4月20日頃までに移植したほ場は順調に生育し、莖数が多く増えている。4月25日頃以降に移植したほ場では、4月中旬から5月上旬にあった強風の影響で初期生育の停滞が見られ、生育に地域間差やほ場間差が見られた。特に、苗質不良や移植後に深水となったほ場では、生育の停滞が見られる。（千葉県農林水産部 5月24日付）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>向こう1か月間のいもち病の発生量は昨年並、イネミズゾウムシ、イネドロオウムシ、イネクロメムシ及びジャンボタニシの発生量はやや多いとの予報（千葉県農林総合研究センター 5月12日公表）</li> </ul>
新潟	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月30日現在、コシヒカリは県平均で指値値に比べ、葉数の進みはややく、莖数は多く、草丈は長い状況。こしいぶきも、県平均では指値値に比べ、葉数の進みは早く、莖数は多く、草丈はややく長い状況。今後も、分けつが発生が旺盛となり、昨年より早く中干し適期に達する見込み。（新潟県農林水産部 5月31日付）</li> <li>（新発田）コシヒカリは、移植後の活着は、平年に比べやや早く、ややく。田植え以降、高温で推移したことから、水稲の生育は旺盛。5月30日現在、生育は平年に比べ4日程度進んでいる。（新発田農業普及指導センター 5月30日付）</li> <li>（新潟）5月30日現在、コシヒカリは、目標に比べて草丈は「長い」、葉数は「多い」、葉齢は「若」となっている。生育は概ね順調だが、田植え時の強風で植え込みや、アオミドロや表層剥離が発生しているほ場も見られる。（新潟農業普及指導センター 5月30日付）</li> <li>（上越）5月が高温で経過したこと、例年になく早く進んでいる。5月30日現在のコシヒカリの生育は、草丈は長く、葉数は多く、葉齢は多い。（上越農業普及指導センター 5月30日付）</li> <li>田植えの盛期は昨年よりやや早い5月14日。5月上旬の強風時移植の一部に生育停滞が見られるが、全体的な初期生育は概ね良好。（上越農業普及指導センター・上越地域農業振興協議会 5月23日付）</li> <li>（柏崎）5月30日現在、こしいぶきの生育は概ね順調。平坦地コシヒカリは指値値と比べて、草丈はややく、葉数はやや多く、葉齢はややく早い（2日程度）。5月15日以前田植えのほ場では分けつが発生している。（柏崎農業普及指導センター 5月30日付）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月のイネドロオウムシ及びイネミズゾウムシの発生量は昨年並、発生時期はややく早い予報（新潟県病害虫防除所 4月28日公表）</li> </ul>
富山	<ul style="list-style-type: none"> <li>（直播情報）</li> <li>・湛水土中直播栽培（カルバー）の生育は、平年に比べ、草丈は19.4cmと長く、葉数は104本/m<sup>2</sup>（苗本土数比159%）とかなり多く、葉齢展開は3.6葉と進んでいる。</li> <li>・湛水表面直播栽培（鉄）の生育は、草丈は14.9cm、葉数は82本/m<sup>2</sup>、葉齢は3.4葉となっている。</li> <li>・乾田V溝直播栽培の生育は、草丈は12.1cm、葉数は204本/m<sup>2</sup>、葉齢は2.9葉となっている。（富山県農業技術課 広域普及指導センター 5月27日付）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月のイネミズゾウムシの発生量は昨年並、イネドロオウムシ及びイネゾウムシの発生量は少ないと予報（富山県農林水産総合技術センター 5月2日公表）</li> </ul>
石川	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月27日現在、葉齢は、コシヒカリが昨年比99～117%（県平均105%、加賀：+0.2葉、能登：+0.5葉）、ゆめみづほが近年比99～119%（県平均107%、加賀：+0.3葉、能登：+0.8葉）となっている。葉齢展開は、コシヒカリで平年に比べ1～3日程度早く、ゆめみづほで近年に比べ0～5日程度早い。</li> <li>草丈は、コシヒカリが昨年比97～105%（県平均97%、加賀：95%、能登：101%）と概ね昨年並、ゆめみづほが、近年比84～109%（県平均97%、加賀：96%、能登：103%）と昨年並となっている。</li> <li>葉数は、コシヒカリが昨年比97～154%（県平均120%、加賀：116%、能登129%）と平年に比べやや多く、前年並みとなっている。ゆめみづほが、近年比95～159%（県平均115%、加賀：111%、能登133%）と近年に比べやや多く、前年に比べ加賀地域ではやや少なく、能登地域ではやや多くなっている。</li> <li>葉齢を基に葉数の増加及び草丈の伸長を昨年と比較すると、草丈の伸長はコシヒカリ、ゆめみづほともに概ね昨年並となっており、葉数の増加についても、コシヒカリ、ゆめみづほともに概ね昨年並となっている。（石川県農林水産部農林総合研究センター 5月27日調査）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月下旬～6月中旬の斑点米カメムシ類の雑草地における発生はややく多と予想。今後急激な増加も考えられることから、生息場所となる農道、畦畔、休耕田及び遊休地等の雑草地の除草を徹底するよう指導。葉いもちの発生量は昨年並、イネドロオウムシの発生量はやや少の予報（石川県農林総合技術センター 5月26日公表）</li> </ul>
福井	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月25日現在、5月12日以降好天が続く、葉色が濃くなってきている。ハナエチゼンで分けつがやや少なく、コシヒカリは昨年並み。（水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 5月26日付）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月の苗いもち病の発生量は昨年より少なく、イネミズゾウムシの発生量は昨年並、イネゾウムシの発生量は昨年より少なく、イネヒメハモグリバエの発生量は昨年より少ないとの予報（福井県農業試験場 5月2日公表）</li> </ul>
長野		<ul style="list-style-type: none"> <li>向こう1ヶ月間のニカメイチュウの発生量はやや少、ツマグロコバエの発生量は昨年並、イネドロオウムシの発生量は昨年並、イネミズゾウムシの発生量は昨年並～やや少の予報（長野県病害虫防除所 5月16日公表）</li> </ul>
滋賀		<ul style="list-style-type: none"> <li>6月の葉いもち、ニカメイガ第1世代、イネドロオウムシ、イネミズゾウムシの発生量は昨年並の予報（滋賀県病害虫防除所 5月24日公表）</li> </ul>
兵庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月26日現在、県北は本田での生育は順調、県南は苗の生育は順調。（兵庫県農政環境部 5月30日付）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>西播磨地域では、イネ結葉枯病が多発傾向。（兵庫県農政環境部 5月30日付）</li> <li>5月の苗立枯病及びばか苗病の発生量は昨年並の予報（兵庫県病害虫防除所 5月2日公表）</li> </ul>
岡山		<ul style="list-style-type: none"> <li>5月の細菌性苗立枯病の発生量は昨年並、結葉枯病の発生量はやや少、萎縮病の発生量は昨年並、ヒメトビウカ、ツマグロコバエの発生量は少、イネミズゾウムシの発生時期はややく発生量は昨年並の予報（岡山県 4月28日公表）</li> </ul>
広島		
山口		<ul style="list-style-type: none"> <li>5月のイネミズゾウムシの発生量は昨年並の予報（山口県病害虫防除所 5月2日公表）</li> </ul>
愛媛	<ul style="list-style-type: none"> <li>普通期水稲の平坦地における移植適期は、にこまるが6月中旬、ヒノヒカリが6月中下旬。（愛媛県農林水産研究所 5月31日付）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月のいもち病（葉いもち）の発生量は昨年並～やや多く、ツマグロコバエ、ヒメトビウカ、セジロウシ、トビイロウカの発生量は昨年並と予報（愛媛県病害虫防除所 5月30日公表）</li> </ul>
高知	<ul style="list-style-type: none"> <li>育苗後期の4月上旬が高温少照で経過したため、移植時の草丈は昨年より長く、移植後の4月中旬以降は、天候に恵まれ、生育は順調に進んでいる。5月10日現在、4月5日植え南国そだちは、昨年より草丈はややく長く、葉数が多く、葉齢でみた生育進捗はややく早くなっている。コシヒカリは昨年より草丈はややく長く、葉数が多く、生育進捗はややく早くなっている。4月14日植えコシヒカリの草丈は昨年並みで、葉数が昨年よりやや多く、生育進捗は昨年並み。（高知県農業技術センター 5月12日付）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月のイネミズゾウムシの発生量は昨年並と予報（高知県病害虫防除所 5月10日公表）</li> </ul>

		生育状況等	同左及び周辺事情に対する自治体等公表資料等（抜粋）
福 岡		(育苗・田植) ・早期水稲（夢つくし、コシヒカリ）田植は4月10日ごろから始まり、4月下旬が最盛期で5月上旬ごろまで行われる。苗の生育は良好。（福岡県農林業総合試験場 平成28年4月15日専技情報より抜粋）	
熊 本			・6月の早期・早植水稲のいもち病（葉いもち）の発生量は <u>平年並の予報</u> （熊本県病害虫防除所 5月31日公表）
宮 崎			・5月の早期水稲のいもち病（葉いもち）の発生量は平年並、イネミズゾウムシの発生量はやや多、ジャンボタニシの発生量は平年並の予想（宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 4月28日公表）
鹿 児 島			・6月の早期水稲のいもち病、紋枯病の発生量は <u>平年並の予報</u> （鹿児島県病害虫防除所 5月30日公表）

注1：地方自治体及び出先機関並びにJA等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。  
注2：生産数量目標、収穫量、作況については、農林水産省の公表資料から抜粋。

道府県	備考 気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）	生産数量目標				収穫量（主食用） 27年産	作況指数 27年産
		参考					
		平成28年産	前年産との比較	増減率	自主的取組参考値（深堀）		
全 国	<p>・5月28日～6月27日の1か月間は、西日本と沖縄・奄美では、気温は高い見込み。沖縄・奄美では、期間の前半は気温がかなり高くなる見込み。西日本太平洋側では、向こう1か月の降水量は多い見込み。 （気象庁 5月26日発表）</p> <p>（6～8月の3か月間の見通し）</p> <p>・6月は、北日本と東日本日本海側では、期間の後半は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み。東日本太平洋側、西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み。気温は、北・東・西日本で平年並または高く、降水量は、西日本太平洋側で平年並か多い見込み。</p> <p>・7月は、北・東日本では、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込み。西日本では、期間の前半は平年と同様に曇りや雨の日が多く、期間の後半は平年と同様に晴れの日が多い見込み。沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多い見込み。気温は、北・東・西日本でほぼ平年並で、沖縄・奄美では高い見込み。降水量は、北・東・西日本で平年並か多い見込み。</p> <p>・8月は、北日本では、気温はほぼ平年並。東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多い見込み。気温は、東日本で平年並か高く、西日本と沖縄・奄美で高い見込み。降水量は、北日本で平年並か多い見込み。 （気象庁 5月25日発表）</p>	7,430,000	▲ 80,000	▲ 1.1	7,350,000	7,442,000	104
北 海 道	<p>・北海道地方の5月28日～6月27日の1か月間は、平均気温は平年並か高く、日照時間は平年並か多く、降水量はほぼ平年並の見込み。 （札幌管区気象台 5月26日発表）</p>	541,500	▲ 5,830	▲ 1.1	535,669	559,600	104
青 森	<p>・東北地方の5月28日～6月27日の1か月間の気温は平年並か高く、日照時間は平年並か多く、降水量はほぼ平年並の見込み。期間の前半は平年に比べ晴れの日が多く、後半は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み。 （仙台管区気象台 5月26日発表）</p>	239,877	▲ 2,583	▲ 1.1	237,294	229,800	105
岩 手	同上（仙台管区気象台 5月26日発表）	268,321	▲ 2,889	▲ 1.1	265,432	269,400	105
宮 城	同上（仙台管区気象台 5月26日発表）	344,906	▲ 3,714	▲ 1.1	341,193	348,400	103
秋 田	同上（仙台管区気象台 5月26日発表）	413,092	▲ 4,448	▲ 1.1	408,644	419,400	103
山 形	同上（仙台管区気象台 5月26日発表）	340,830	▲ 3,670	▲ 1.1	337,160	354,300	103
福 島	同上（仙台管区気象台 5月26日発表）	335,933	▲ 3,617	▲ 1.1	332,316	342,600	101
茨 城	<p>・関東甲信地方の5月28日～6月27日の1か月間は、平年並か高く、降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 （気象庁 5月26日発表）</p>	333,776	▲ 3,594	▲ 1.1	330,182	345,400	96
栃 木	同上（気象庁 5月26日発表）	295,508	▲ 3,182	▲ 1.1	292,326	287,300	98
埼 玉	同上（気象庁 5月26日発表）	149,659	▲ 1,611	▲ 1.1	148,047	152,200	97
千 葉	同上（気象庁 5月26日発表）	243,864	▲ 2,626	▲ 1.1	241,239	297,500	101
新 潟	<p>・北陸地方の5月28日～6月27日の1か月間は、気温は平年並か高く、降水量はほぼ平年並、日照時間もほぼ平年並の見込み。 （新潟地方気象台 5月26日発表）</p>	515,737	▲ 5,553	▲ 1.1	510,184	539,600	97
富 山	同上（新潟地方気象台 5月26日発表）	183,672	▲ 1,978	▲ 1.1	181,695	191,200	103
石 川	同上（新潟地方気象台 5月26日発表）	122,313	▲ 1,317	▲ 1.1	120,996	123,200	101
福 井	同上（新潟地方気象台 5月26日発表）	124,124	▲ 1,336	▲ 1.1	122,787	123,800	99
長 野	<p>・関東甲信地方の5月28日～6月27日の1か月間は、平年並か高く、降水量は平年並か多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 （気象庁 5月26日発表）</p>	191,933	▲ 2,067	▲ 1.1	189,867	194,500	97

気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）		t	t	%	t	t	t
滋 賀	・ 近畿地方の5月28日～6月27日の1か月間は、気温は高い見込み。太平洋側は降水量が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。日本海側は、降水量は平年並が多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (大阪管区気象台 5月26日発表)	158,741	▲ 1,709	▲ 1.1	157,032	158,500	100
兵 庫	同上（大阪管区気象台 5月26日発表）	178,518	▲ 1,922	▲ 1.1	176,596	178,900	99
岡 山	・ 中国地方の5月28日～6月27日の1か月間は、2週目の気温は高く、1週目と3～4週目は平年並か高く、1か月を平均した気温は高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (広島地方気象台 5月26日発表)	156,861	▲ 1,689	▲ 1.1	155,172	149,500	96
広 島	同上（広島地方気象台 5月26日発表）	128,585	▲ 1,385	▲ 1.1	127,201	121,700	96
山 口	・ 九州北部地方（山口県含む）の5月28日～6月27日の1か月間は、気温は高く、降水量は平年並が多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (福岡管区気象台 5月19日発表)	107,601	▲ 1,159	▲ 1.1	106,443	100,700	97
愛 媛	・ 四国地方の5月28日～5月27日の1か月間は、気温は高く、降水量は多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (高松地方気象台 5月19日発表)	73,133	▲ 787	▲ 1.1	72,345	71,200	98
高 知	同上（高松地方気象台 5月26日発表）	49,537	▲ 533	▲ 1.1	49,003	52,800	96
福 岡	・ 九州北部地方（山口県含む）の5月28日～6月27日の1か月間は、気温は高く、降水量は平年並が多く、日照時間はほぼ平年並の見込み。 (福岡管区気象台 5月19日発表)	180,526	▲ 1,944	▲ 1.1	178,582	172,300	95
熊 本	同上（福岡管区気象台 5月26日発表）	187,293	▲ 2,017	▲ 1.1	185,277	171,500	97
宮 崎	・ 九州南部地方の5月28日～6月27日の1か月間は、気温は高く、降水量は多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (鹿児島地方気象台 5月26日発表)	92,603	▲ 997	▲ 1.1	91,606	74,700	93
鹿 児 島	同上（鹿児島地方気象台 5月26日発表）	109,887	▲ 1,183	▲ 1.1	108,704	95,700	95

参考資料:

平成28年度産米の都道府県別の生産数量目標について(農林水産省)  
平成27年度水陸稲の収穫量(農林水産省)  
平成28年度病害虫発生予報第1号(農林水産省)

農作物の生育状況 5月15日現在(北海道 5月20日)、農作物生育状況 5月15日現在(北海道空知総合振興局 5月20日)、  
農作物の生育状況 5月15日現在(北海道石狩振興局 5月20日)、農作物の生育状況 5月15日現在(北海道後志総合振興局 5月20日)、  
農作物の生育状況 5月15日現在(北海道胆振総合振興局 5月20日)、農作物の生育状況 5月15日現在(北海道日高振興局 5月20日)、  
農作物の生育状況 5月15日現在(北海道渡島総合振興局 5月20日)、農作物の生育状況 5月15日現在(北海道檜山振興局 5月20日)、  
農作物の生育状況 5月15日現在(北海道上川総合振興局 5月20日)、農作物生育状況調査の概要 5月15日現在(北海道留萌振興局 5月20日)  
農作物の生育と農作業の進捗状況 5月15日現在(北海道オホーツク総合振興局 5月20日)、  
病害虫発生予察情報第3号6月予報(北海道病害虫防除所 5月30日)、  
H28水稲作況(移植時の苗)・H28水稲作況(発根調査)(青森県産業技術センター農林総合研究所 5月30日)、5月25日現在田植え進捗状況(青森県 5月26日)、  
平成28年度病害虫発生予報第3号(6月予報)(青森県病害虫防除所 5月31日)、  
農作物技術情報第3号水稲(岩手県 5月26日)、平成28年度病害虫発生予察情報発生予報第2号(岩手県病害虫防除所 4月27日)、  
平成28年度水稲の田植進捗状況について(5月19日現在)(宮城県農林水産部 5月23日)、平成28年度発生予察情報発生予報第3号-水稲-(宮城県病害虫防除所 5月20日)、  
生育状況の情報(秋田県ホームページ)こまちチャンネルhttp://www.e-komachi.jp/ 5月27日)、  
平成28年度農作物病害虫発生予察情報発生予報第2号(6月予報)(秋田県病害虫防除所 5月27日)、  
稲作たより第3号(村山総合支庁産業経済部北村山農業技術普及課 5月26日)、稲作たより第5号本田初期編(最上総合支庁農業技術普及課 5月27日)、  
つや姫たより第2号(庄内総合支庁農業技術普及課 5月22日)、おいしい米づくり情報第5号(村山総合支庁農業技術普及課 5月19日)、  
おいしい米づくり情報第4号(村山総合支庁農業技術普及課 5月11日)、稲作たより第3号(村山総合支庁西村山農業技術普及課 5月10日)、  
おきたま米づくり情報No.3(置賜総合支庁産業経済部農業技術普及課 5月6日)、つや姫たより第1号(最上総合支庁農業技術普及課 4月22日)、  
平成28年度農作物有害動物発生予察情報発生予報第2号(5月)(山形県病害虫防除所 4月27日)、  
主要な農作物の生育情報平成28年度第2号(福島県農林水産部 5月12日)、平成28年度病害虫発生予察情報発生予報第2号(5月)(福島県病害虫防除所 5月27日)、  
病害虫発生予報5月号(茨城県病害虫防除所 4月28日)、平成28年度病害虫発生予報第2号(栃木県農業環境指導センター 5月20日)、  
植物防疫ニュース(速報No.2)(栃木県農業環境指導センター 5月27日)、平成28年度病害虫発生予報第2号(栃木県農業環境指導センター 5月20日)、  
平成28年度病害虫発生予報第2号(6月予報)(埼玉県病害虫防除所 5月27日)、  
水稲の生育状況と当面の対策第1報(千葉県農林水産部 5月24日)、平成28年度病害虫発生予報第2号(千葉県病害虫防除所 5月12日)、  
水稲の生育状況と今後の管理対策(第1号)(新潟県農林水産部 5月31日)、平成28年度「上越地域米」栽培技術情報No.3(上越農業普及指導センター 5月23日)、  
平成28年度上越地域米水稲生育速報(上越農業普及指導センター 5月30日)、新発田地域水稲生育速報No.1(新発田農業普及指導センター 5月30日)、  
新潟稲作速報No.1(新潟農業普及指導センター 5月30日)、稲作管理情報1(柏崎農業普及指導センター 5月30日)、  
平成28年度新潟県病害虫発生予察情報・予報第2号(5月の発生予想)(新潟県病害虫防除所 4月28日)、  
直播情報(第1号)(富山県農業技術課 広域普及指導センター 5月27日)、病害虫発生予報第2号(富山県農林水産総合技術センター 5月2日)、  
平成28年度水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-2号)(石川県農林総合研究センター 5月27日)、  
病害虫発生予報第2号(石川県農林総合研究センター 5月26日)、  
稲作情報No.4(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 5月25日)、平成28年度農作物病害虫発生予察予報第3号(福井県農業試験場 5月2日)、  
病害虫発生予報第2号(長野県病害虫防除所 5月16日)、平成28年度病害虫発生予報第3号(滋賀県病害虫防除所 5月24日)、  
平成28年度兵庫県農業気象技術情報第2号(6月情報)について(兵庫県農政環境部 5月30日)、平成28年度病害虫発生予察予報第1号(兵庫県病害虫防除所 5月2日)、  
平成28年度病害虫発生予報第2号(岡山県病害虫防除所 4月28日)、農作物病害虫発生予報5月(山口県病害虫防除所 5月2日)、  
気象情報に基づく技術対策・作物(愛媛県農林水産研究所 5月31日)、病害虫発生予報(6月)(愛媛県病害虫防除所 5月30日)、  
平成28年度における早期水稲の生育状況(5月10日時点)(高知県農業技術センター 5月12日)、平成28年度病害虫発生予察予報第2号(5月)(高知県病害虫防除所 5月10日)、  
福岡県の主な農作物の生産状況(福岡県農林業総合試験場 4月15日)、平成28年度病害虫発生予報第3号(6月予報)(熊本県病害虫防除所 5月3日)、  
平成28年度病害虫発生予報第1号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 4月28日)、平成28年度病害虫発生予報3号(鹿児島県病害虫防除所 5月30日)、

北海道地方方向こう1か月の天候の見通し(札幌管区気象台)、東北地方方向こう1か月の天候の見通し(仙台管区気象台)、関東甲信地方方向こう1か月の天候の見通し(気象庁)、  
北陸地方方向こう1か月の天候の見通し(新潟地方気象台)、近畿地方方向こう1か月の天候の見通し(大阪管区気象台)、中国地方方向こう1か月の天候の見通し(広島地方気象台)、  
四国地方方向こう1か月の天候の見通し(高松地方気象台)、九州北部地方方向こう1か月の天候の見通し(福岡管区気象台)、九州南部・奄美地方方向こう1か月の天候の見通し(鹿児島地方気